

お茶の水女子大学理科教育復興支援 研修・意見交換会

日時： 2015年1月13日 14:00-18:30

場所： お茶の水女子大学

参加者： 岩手県沿岸部の小中学校教員及び教育委員会 21名

担当： 貞光 千春 (お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター 特任准教授)

竹下 陽子 (お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター 特任講師)

露久保 美夏 (お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター 特任講師)

実施概要：

研修会 (14:00-16:00)

- I. iPad等のICT機器を授業に活用する方法
- II. 小中学校を結ぶ電磁石の実験
- III. 地球分野の実験・教材

意見交換会(16:30-18:30)

テーマ① 今後お茶大とどのような連携を望むか(グループディスカッション)

テーマ② 現在から今後5年間の東北の教育に必要なことは何か(グループディスカッション)

テーマ③ これから起こりうる災害に対して必要なことは何か。モデル校として東北の学校ができることや伝えられることは？(全体ディスカッション)

実施結果：



スマホ顕微鏡でウニの受精卵を観察



モーター分解



火山の形



グループディスカッション



グループ発表



全体ディスカッション

アンケート結果(感想抜粋)：

- ・どんどん積極的にお茶大と連携していきたいです。理科の教材開発の他、復興、5年後の東北について考えることができるいい機会でした。
- ・他校の実践事例を直接伺うことができたことや、教材を教えていただいたことが大変有意義でした。
- ・支援がなくなっても自立していけるような支援というのがすごく大切だと思いました。私たちの思いをくみとり、寄りそった支援、ありがとうございます。